

職業訓練再考

～ケイパビリティ・アプローチを応用してみる～

2015年10月26日(月)

1 pm – 6 pm @ 一橋大学経済研究所大会議室

頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム

トランス・ポジショナル（位置越境）なケイパビリティ指標の作成に向けた国際共同研究

A. Sen の提唱するケイパビリティ・アプローチは、単純に富の最大化を社会の幸福とは考えないことから多くの人々を魅了してきました。ところが、その魅力のわりに、現実社会にケイパビリティ・アプローチを応用して厚生評価に結びつける試みは広がっていません。その理由はいくつか考えられますが、現実私たちが直面する社会問題にどう応用してよいかわからないという問題が大きいように思えます。

他方労働市場では、自らの人的資本をどこでどうやって蓄積するかは職業生活を構築する際に難しい課題であり続けています。ケイパビリティ・アプローチが最も直接当てはまりやすそうなこの分野に研究が蓄積していないのは意外かもしれませんが、今回、フランスにおける職業訓練の専門家で、実際にケイパビリティ・アプローチを応用しようとしている研究者を迎え、職業紹介へのケイパビリティ・アプローチの応用について話し合います。日本側から、職業訓練やとくに学校と職業生活との接続に詳しい堀さん、職業訓練の経済学的評価に定評のある原さんを交え、活発な議論が期待されます。

会場では日本語から英語への通訳がつかます。

また、10月28日水曜日午後には、ポリテクセンター関東を訪問しますので興味ある方がいらっしゃいましたらご一緒にどうぞ。コンファレンス・ポリテクセンター関東訪問への参加・問い合わせは10月19日までに小川茉莉 ogawa@ier.hit-u.ac.jp までご連絡ください。

プログラム

13:00-13:40 Benedicte Zimmermann
(EHSS) and **Josianne Vero** (CEREQ)
*"Current Challenges in the French
System of Continuing Vocational
Training"*

13:40-14:30 Benedicte Zimmermann
(EHSS) and **Josianne Vero** (CEREQ)
"Why the Capability Approach?"

14:30-15:10 Benedicte Zimmermann
(EHSS) and **Josianne Vero** (CEREQ)
*"Companies' responsibility for the
development of workers' capabilities: A
Case Study"*

コーヒープレイク (15:10-15:30)

15:30-16:30 堀有喜衣
(労働政策研究・研修機構)
*"The Situation of Public Vocational Training in Japan:
From the aspect of Transitions 'from school to work'"*

16:30-17:30 原ひろみ
(日本女子大学)
*"An Evaluation of Public
Training Programs in Japan"*

17:40-18:00 Wrap-up discussion by organizer

Conference dinner (18:30-20:30)